

2面	・差別ヒラ事件について
3面	～あなたはこの現実をどのように受け止めますか～
4面	・「わたし」No.79～出会う・気づく・つながる～ 「もう一人の自分」 三間 啓司(狭間中学校PTA)
・三同教育研究大会分科会報告者募集	

人権さんだ

やさしさの
パトシリレーだ
ぼくのまち
(前年度)すずかけ台小学校6年生
定立 亮太

平成19年度
三田市人権標語入選作品

発行 三田市(〒669-1595 三田市三輪2丁目1番1号 ☎563-1111)

わたし
No.79
出会う
気づく
つながる

もう一人の自分

三間 啓司
(狭間中学校PTA)

私は兼ねてから「出会いは宝！仲間が宝物」だと思っていますので、当然ながら色々な出会いは経験させて頂いています。「親、友人、仲間、妻、子ども」等々です！
そこで誰との出会いをテーマにしようか？
悩んだ結果…親友の一人でも有る？「もう一人の自分」をテーマにさせて頂きます！
誰にでも二面性があると云われていますが、その顕著な二人の出会いです！

いつもの自分

昔の事です。或真冬の身も心も凍て付きそうな寒い、土砂降りの夜の夜の出来事でした。
出張帰りの帰宅時に、駅迄妻に迎えに来て貰うべく、駅に何時到着との連絡も入れて(携帯電話の無い時代)駅に到着。駅前は迎えの車で待つたがえず、妻を待たせたくない思いで待ち合わせ場所迄走りまわりましたが妻は来てない(涙)
仕方ないので待つ事に…でも待てど暮らせど妻は来ない！
連絡しよう…と公衆電話に行くと長蛇の列。
並んでいる最中に迎えが来たら…考えがぐるぐる回り出す。
考えれば考える程不思議と悪い発想しか出て来ない！人間は本来マイナス思考なのでしょう！
仕方なしに又定位の階段下まで行くとそこには他の人が「そこは俺の場所だ！」と言う思いを打ち消し(誰の場所でも無いのは解っているのだけれど、何故か怒りが…)待ち続ける。何万時間？待ったのたろうか？と思える位待った時にやっと妻を迎えに来た。こちらは堪忍袋は破裂した状態で「何時間またすねん、凍え死にさせる程か(怒)」の第一声に妻も「私も夕食の用意や子どもを寝かしたりで大変だったんだから(怒)」と売り言葉に買い言葉でバトル開始！最悪！絶対に離婚だ！と決断(笑)…と言う事件が起こり、我が家には2〜3日はドロドロの空気が漂い続けていました(涙)

それから或日全く同じ場面の再現…まるでこれって「デジャブ(予知夢)」…って思える位同じ状況に出くわしました。
しかし、その時は怒りを抑えて妻の立場になって考え「寒いのに大雨の中、お迎えありがとう」と心から感謝の気持ちで言った処、「待たしてゴメンねえ、寒かったでしょ？」とお互いが相手を思い遣った言葉を掛けしていました！

素敵な自分との出会い

同じ登場人物で同じ場面なのに…片や悲しい結末に、片やハッピーエンドに…一度目は妻の立場や人権は全く無視、二度目は妻の立場や人権を尊重した結果全く真逆の展開に…
夫婦でもこれ程の差が出る訳ですから、他人ならなおの事です。些細な一言や態度が先方に対して悪くも良くも、影響を与えてしまう事があると云う事を気づかせて頂いた体験でした。

気づく

つながる

もう一人の自分との出会いで、ひとつの言葉は真逆の状況を引き起こす事に気づかされました。
「自分がして欲しいと思う事を相手にする！」と意識する事で、相手との輪が拡がり、そして繋がりも生まれます。
近年の(いじめ問題)等も、発端はそんな些細な一言であったのかもしれない…。
人は皆幸せになる権利が有ると思います！
でも、その為には努力しなければならぬ事も有りです。
自分が幸せで、気持ち良く過す為には、自分の身近な人を幸せにする事ではないでしょうか？人への優しさ、思い遣り、心くばり、等々。実は自分自身を幸せにする行為だとは思いませんか？
それは決して容易い事では無いと思えますが、意識して、習慣を変えられる事が出来るのも、人間です。
地球上で人間だけに許された特権「言語文化」は便利にだけに、人の為に大切にしたいものです！
(完)



人権のまち三田を めざして

私は、市民のみなさんが、安全でそして安心感を持ちながら日常の暮らしを営むことができ、働き、学び、憩うことのできる人間中心のまちづくりをめざしています。その中で一番大切にしなければならぬのは、やはり一人一人の命と人権です。

このたびの組織改正では、人権のまちづくりをより進めるために、これまで総務部人権推進課と教育委員会人権教育課の2課で行ってきた人権行政を統合しました。三田市人権のまちづくり推進委員会の提言内容にある人権に関する総合的な取り組みを、より一層充実させてまいります。長年にわたり市民のみなさんとともに進めてきました人権のまちづくりにより、「差別はおかしい」「差別は間違っている」という認識は広がって来ました。

しかし、今なお差別落書きやインターネットを悪用した人権侵害など、まだまだ人権問題が私たちの生活の中に根強く残っていると認めざるを得ない状況があります。

今回、発生しました差別ヒラ事件(2〜3面に掲載)につきましても、これまでの人権行政に対する挑戦であるとともに、人を著しくおとしめる悪質極まりない行為であり、重大な人権侵犯事件として、厳しく受け止めてまいります。

市としましても、このような差別的現実をふまえ「差別を絶対に許さない」「あらゆる差別を解消する」といった強い信念をもって、市民のみなさんと一丸となり、誰もが幸せを感じる人権のまちづくりを進めてまいります。



三田市長
竹内 英昭

「いのち」の時間2



私が小学校で出会った4年生の生徒さんたちの目は輝いていました。
それは、獣医師という職業に対する興味と、学校へやってくる先生以外の大人への関心にあふれているようでした。そんな初対面の生徒さんたちの熱気を感じながら、私に与えられたお話の時間、70分はゆっくりと終わりに向かって流れていました。
ひょうたんの話に始まり、人間と動物の差別的違いまで話を進めました。生徒さんたちの表情はさらに真剣に、くいるように私に注目しています。
「動物を飼う」ということは、飼いがその動物に「いのち」を預かるということなのです。
この言葉にたくさんの生徒さんが何かを感じてくれたようです。

「今日は、みなさんと一緒に考えよう」と思っただけで、死ぬまで大切にして欲しい」と話して、担任の先生が「自分の感じたことも話してください」と生徒さんたちを後押ししてくださいました。その言葉に勇気づけられたように、飼っていた犬が死んだ時のことを、泣きながら話してくれた生徒さんがいました。
無責任に犬を飼いたいとねだっていたことを反省した生徒さんもありました。
「今飼っている犬はもうおばあちゃんだけど、死ぬまで大切にしようと思いましたが」と話してくれた生徒さん。
人間の都合で、飼えなくなったからと保健所にあげられ、やがて処分されるのを待つ動物がいることを知り、助けてあげたいと思った。でも、すでに家には動物がいて、飼ってあげられなかったと、涙ながら話してくれた生徒さん。
人より寿命の短い動物たち、大切な家族のような動物たち。生と死、向き合った経験を聞きながら、その場所にいた生徒さんも、私も、それぞれに「いのち」の重みを共に感じました。

後で頂いた感想文の中にこう書いてくれた生徒さんがいました。
「ぼくは話を聞いて思いました。命があるものすべてが、飼い主に命をあずけているんだと、そしてぼくは家に帰ってメダカとカニの水槽を見て、このメダカもカニも命をあずけているんだと思えました」
水槽の前で、懸命に生きる命をみつめる生徒さん。
迷いながらも、生徒さんたちと対面できて本当に良かった。私と生徒さんたちの「いのち」を一緒に考える時間は、終了した後も心地よい余韻を残してくれました。
(完)

前中 勤(下ム動物病院)

三田市総務部の人権推進課と
三田市教育委員会の人権教育課は
平成20年度4月1日から
三田市まちづくり部-市民協働室-人権推進課
として、一つの課に統合しました。

これまでそれぞれの部署が分担して取り組んできた人権部門の窓口を一つにすることで、人権相談から人権教育・人権啓発までの一貫した流れを一つの課で総合的に行い、市民のみなさんにとって、これまで以上にわかりやすく、より充実した人権の取り組みを推進していきます。

【新しい人権推進課の業務一覧】

- ・人権のまちづくりの企画と調整
- ・人権研修の学習相談及び協力
- ・人権相談窓口の開設
- ・三田市同和教育研究協議会の事務局
- ・人権文化創造活動の実施
- ・「平和を考える市民のつどい」開催などの平和施策
- ・「人権を考える市民のつどい」の開催
- ・「フレンドシップデイ インサナ」の開催
- ・「人権を学ぶ啓発講座」の開催
- ・広報紙「人権さんだ」の発行
- ・人権研修資料(ビデオ、書籍、機材等)の貸し出し

※その他人権のまちづくり推進と人権啓発に関することを行います。

連絡・問合先
三田市まちづくり部市民協働室人権推進課(三田市同和教育研究協議会事務局)
〒669-1595 三田市三輪2丁目1番1号 西3号庁舎(旧市民会館)1階
☎559-5081・559-5148 FAX 563-3611
Eメールアドレス jinken_u@city.sanda.lg.jp

「私」の思いを伝えてみませんか 三田市同和教育研究大会 分科会報告者募集

三田市同和教育研究協議会では8月に開催する「三田市同和教育研究大会」分科会の報告者を募集します。日ごろあなたが感じる人権についての思いや考え、周りの人にぜひ訴えたいことなどを、参加者に伝えてください。発表内容等についてはご相談させていただきますので、どしどしご応募ください。

- ①と き：8月24日(日)
- ②発表分科会：「こころ豊かに生きる」 ※約20分程度、報告者から発表し、その内容をもとに参加者みんなで話し合っていきます。
- ③応募について：市内在住・在学・在勤の人1名募集。年齢・性別等は問いません。希望される方は三田市同和教育研究協議会事務局(1面下)まで、電話・FAXにてお申込ください。
- ④応募しめきり：4月25日(金)